

主題：  
新契約

メッセージ 1

命の新契約として、神の確かなあわれみとしてのキリストの啓示と享受

聖書：イザヤ 42:6. 49:8. 55:1-13. エレミヤ 31:31-34. ヘブル 8:8-12

I. ギリシャ語では、「契約」と「遺言」に同じ言葉が使われています：

- A. 契約と遺言は同じです。しかし、契約の制定者が生きているとき、それは契約です。彼が死んだとき、それは遺言です。遺言は、今日の用語では遺書です。
- B. 契約とは、契約を結んだ人のためにある事を成就するという約束を内容とする同意書です。遺言とは、相続人へ遺贈されている、すでに成就された事を内容とする遺書です——ヘブル 9:16-17. 参照、申 11:29. 28:1, 15. エレミヤ 31:31-32。

II. 律法である旧契約は、神の証し、神の肖像であって、神がどなたであることを示し、人を暴露し、人を服従させ、神の選びの民をキリストに導きます——詩 78:5. 119:88後半. 創 1:26. ローマ 3:19-20. ガラテヤ 3:23-25. ヨハネ 10:9-10。

III. 律法の旧契約は神の肖像であり、恵みの新契約は神のパーソンです——1:16-17：

- A. 律法は神が何であるかにしたがって人に対して要求します。恵みは神が何であるかにしたがって人に供給しますが、それは神が要求するものを満たすためです——I コリント 15:10。
- B. わたしたちがキリストの中へと信じるとき、この肖像のパーソンはわたしたちの中へと入ります。そして、わたしたちが霊にしたがって歩き、思いを霊に付けるとき、神はわたしたちの中で律法の要求を成就します——エゼキエル 36:26-27. ローマ 8:2, 4, 6, 10。
- C. 新契約において神はご自身を彼の選びの民の中へ彼らの命として入れますが、この命は法則、すなわち自発的な力、自動的な原則です——ヘブル 8:10. ローマ 8:2。
- D. 本質において、この法則はその霊であるキリストにある神です。また機能において、それにはわたしたちを神化し、あらゆる種類の機能を持った、キリストのからだの肢体たちに構成する能力があります——10, 6, 11, 28-29節。

IV. キリストご自身は、神によってわたしたちに与えられた命の新契約、新しい遺言です——イザヤ 42:6. 49:8. エレミヤ 31:31-34. ヘブル 8:8-12：

- A. キリストは彼の死を通して神の律法にしたがって神の義の要求を満たし、新契約を制定しました（ローマ 6:23. 3:21. 10:3-4. ルカ 22:20. ヘブル 9:16-17）。また彼は彼の復活において、そのすべての遺贈を伴う新契約となりました（I コリント 15:45後半. イザヤ 42:6. ピリピ 1:19）。
- B. キリストは彼の昇天において神のエコノミーに関する新契約の巻物を開き、また彼は彼の天の務めにおいて中保者、執行者として、その内容を実行しています——啓

5:1-5. ヘブル 8:6. 9:15. 12:24。

- C. キリストはユダ族の獅子としてサタンに勝利し、サタンを打ち破りました。キリストは贖う小羊として墮落した人の単数の罪と複数の罪を取り去りました。またキリストは七つの霊として新契約の巻物の内容であるご自身をわたしたちに注入します——啓 5:5-6. ヨハネ 1:29。
- D. 神の救い、神の祝福、神の豊富のすべては、わたしたちに契約されており、この契約はキリストです：
1. 新約における何百もの遺贈の実際は、キリストです——創 22:18 前半. ガラテヤ 3:14. I コリント 1:30. 15:45 後半. エペソ 1:3.
  2. キリストは新しい遺言の実際であり、神であるすべてのものの実際、神がわたしたちに与えたすべてのものの実際です。ですから、キリストは新しい遺言です。
  3. 遺贈は多いのですが、これらの多くの遺贈はすべて実際には一人のパーソン、すなわちニューマとなったキリストです。神はその霊であるキリストの中で、ご自身を遺贈しています——ヨハネ 20:22. エペソ 3:8.
  4. 新契約において主によってわたしたちに残された遺贈は無尽蔵です。また、それらはわたしたちがその霊を通して永遠にわたって経験し、享受するためです——ヘブル 9:15.
- V. わたしたちの霊は、新契約のすべての遺贈の「銀行口座」です。命の霊の法則によって、これらすべての遺贈はわたしたちの中へと分与され、わたしたちにとって実際となります——ローマ 8:2, 10, 6, 11, 16. ヘブル 8:10. ヨハネ 16:13：
- A. わたしたちは霊の中で、神の働きを通して、ご自身をわたしたちの内側の各部分へと分け与え、書き記す神聖な命の法則として、神の臨在、神の語りかけ、神と会うこと、神の分与を持ちます——ヘブル 8:10。
- B. 主は彼を畏れる者に彼の契約を知らせ、また彼を愛する者には彼の契約の計り知れない実際であるご自身を分与します——詩 25:14. イザヤ 11:2-3 前半. I コリント 2:9。
- C. 新契約としてのキリストはわたしたちの分け前、すなわち、わたしたちの救いの杯また祝福の杯です。わたしたちは彼の尊い御名を呼び求めることによって、彼をわたしたちの救いと祝福として飲むことができます——ルカ 22:20. 詩 16:5. 23:5. 116:13. I コリント 10:16 前半。
- D. キリストはわたしたちの霊の中の新契約のニューマとなった執行者、中保者です。執行者として彼は、わたしたちがあらゆる祈りの手段によって、彼の遺書の言葉を受けるとき、遺書のあらゆる遺贈を利用可能にし、また実際とならせます——ヘブル 8:6. I ヨハネ 5:6。
- E. 新契約の保証として、キリストは新契約のあらゆる事柄が成就するための担保です。彼は新しい遺書の効果を保証し、確かなものにします——ヘブル 7:22。
- F. 神聖な大祭司として、キリストはわたしたちのためにとりなし、また、わたしたちが新契約の実際の中へともたらされるように祈ることによって新契約を執行しています—— 25 節. ローマ 8:34, 26。
- G. 聖所の奉仕者として、キリストは新契約の遺贈、祝福をもってわたしたちに仕えて、新契約の事実がわたしたちの経験において効果のあるものにします——ヘブル 8:2。

H. わたしたちは新契約におけるすべての祝福の適用を受けるために、諸召会のためのキリストのとりなしと、彼が神を他の人たちの中へと供給することの中へと入ることによって、キリストの天的な務めに応答する者となる必要があります——創 14:18-20. ヘブル 7:25. 8:2. 使徒 6:4。

**VI. イザヤ書第55章が啓示しているのは、新契約としての復活したキリストが、ダビデに示された神の確かなあわれみであるということです——3節：**

- A. 使徒第 13 章 34 節でパウロは、神の確かなあわれみを、「ダビデのあの聖なるもの、信実なもの」と解釈し、使徒第 13 章 33 節と 35 節で、これらのものは、神の長子また聖なる者としての、復活したキリストご自身であることを示しました。
- B. これはまた、イザヤ第 55 章 4 節によっても確証されます。それは、確かなあわれみが、民への証人、指導者、命令する者としてのキリストご自身であることを啓示します。
- C. ダビデの子孫としての復活したキリストは（ローマ 1:3-4）、ダビデの末マリア、すなわち、キリストの母（マタイ 1:16）を通してダビデに示された神の確かなあわれみであり、ご自身を彼のすべての信者の中へと分与します（I コリント 15:45 後半）。
- D. 彼は、あわれみと祝福、「あの聖なる、信実なもの」、神がわたしたちに与えてくださる大いなる賜物、すなわち、永遠の契約であり、彼の計り知れない豊富すべてを伴っており、わたしたちのすべてを含む恵みとなります——イザヤ 42:6 後半. I コリント 1:9. 参照、使徒 13:43。

**VII. イザヤ書第55章は、神の確かなあわれみである復活したキリストを享受する道を啓示しています：**

- A. 神の道と神の思いは、わたしたちが彼に来て、彼に生ける水を求め、生ける水、すなわち、永遠の契約の実際であり、ダビデに示された確かなあわれみである彼を飲むようにということです——1-3 節. 参照、ヨハネ 4:10, 14. 啓 22:17。
- B. 悪しき者の邪悪な状態は、彼らが主に来て、主を食べて、享受することをしないことです。彼らは多くのことを行ないますが、主と接触しに来ることをせず、彼を取ることをせず、彼を受けることをせず、彼を味わうことをせず、彼を享受することをしません。神の目に、これ以上に邪悪なことはありません——エレミヤ 2:13. イザヤ 55:7. 57:20。
- C. わたしたちは代価を払って自分自身を主にささげ、彼の声を聞くためにわたしたちの耳を開いていただくことによって、命を与える水、供給するパン、活気づけるぶどう酒、浄化する乳としての彼に満足する必要があります——55:1-3. ヨハネ 6:57. マタイ 9:17. I ペテロ 2:2. 啓 3:16-20。
- D. そうすれば、わたしたちの魂は、生ける方である復活したキリストと共に、歓喜の油である複合の霊で満たされるでしょう——ヘブル 1:9. 啓 1:18. イザヤ 55:2。
- E. わたしたちは神の忠信な証人であり、からだのかしらである主をわたしたちの内側の存在において高く挙げる必要があります。それは、彼が墮落した宇宙、宇宙的な「崩壊の堆積」をかしらにつり上げるためです——4-5 節. 啓 1:5. 使徒 1:8. エペソ 1:10, 22-23。
- F. わたしたちは主にわたしたちを引き寄せてくれるように求める必要があります。それは、わたしたちと他の多くの者たちが宇宙における大いなる引き付けるものとし

- ての彼の後を走るためです——イザヤ 55:5. 雅 1:4. 参照、ルカ 15:20. ヘブル 12:1-2。
- G. わたしたちは彼を追い求め、彼を呼び求める必要があります——イザヤ 55:6-7. ピリピ 3:13-14。
- H. わたしたちは自分の道と自分の思いを捨て、彼に帰る必要があります。それによって、わたしたちは彼の同情と限りない多種多様な赦しを享受することができます——イザヤ 55:7. II コリント 3:16. 4:4. ローマ 9:23. I ヨハネ 1:7, 9。
- I. わたしたちは彼の言葉を雨と雪として享受し、彼の天的な思いと道で潤され浸透されて、聖別され、造り変えられ、彼のかたちに同形化される必要があります。それは、キリストのからだが建造されて、新エルサレムを究極的に完成するためです——イザヤ 55:8-11. エペソ 5:26-27。
- J. わたしたちが神の言葉で浸透されることは、キリストを生き、キリストを成長させて、キリストを増殖する種としてまき、またキリストを生けるパンとして供給するためです——マルコ 4:3, 14. I コリント 3:2 前半. マタイ 24:45-47。
- K. わたしたちが神の確かなあわれみであるキリストを最高度に享受することは、エホバにとって名となり、彼の宇宙的な名声は彼の恵みの栄光の賛美となります——イザヤ 55:12-13. エゼキエル 34:29-31. 啓 3:12. エペソ 1:6。
- L. わたしたちが神の確かなあわれみであるキリストを最高度に享受することは、永遠のしるし、永遠の記念となって、彼を宇宙的に高く挙げ、第一位とします——出 13:4-9. 16:33. マタイ 26:13。